



# 交流センターから歴史と文化の発信を

奥の細道サミットをしたい  
教育長  
小玉 勇 議員



にぎわうパン屋さん(役場町民ホール)



大盛況の町民大学

## 町民大学

もっと拡大拡張すべき。教育長 従来は4回の講座全てに出席できる方を登録してきた。若干ながら町外の方もいる。一昨年「三遊亭好楽」の講演会を開催しポスターチラシを近隣市町村に送付しPRしてきた。今後は町民大学4講座パンフレットも町外にPRし、1講座単独でも聴講できるようにワンコイン(500円)も考えている。

## 交流センターに いこいのスペースを

ホールを活用はきわめて重要だ、どんな構想があるのか。教育長 近隣市町にない設備をもち演劇に適したホールになっているので、演劇、演芸、映画鑑賞などを考えている。特にイベントの開催では地域経済へ効果が波及するよう、例えば「奥の細道サミット」の加盟市町村双方に効果が生じようというイベントを誘致したい。

喫茶は芸術文化の「ゆりかご」だ、どうするか。町長 他自治体の調査をし、町内の業者にも意見をもらい、その結果商業ベースでの喫茶室は人件費を別途行政側が負担する形でなければ採算は難しいと判断した。交流サロン、エントランスホール等に椅子、テーブル、自動販売機を設置し「くつろぎ」の機能を演出したい。

ロービーでは販売食品野菜はできるのか。町長 にぎわいやイベントを盛り上げたり、施設の魅力の向上につながるものならば歓迎すべきだ。ただし、営利を伴うと施設使用料が発生するため、今後具体的な検討していく。使用例として、建物内だけでなく屋外スペースを利用し「新そばまつり」や「大石田まつり」に賑わいの華を添えることは十分に考えられる。複合施設として「健康増進」「子育て支援」「読書活動」「福祉活動」「芸術文化の創造」これらの機能を十分に生かしていく。

鶴岡市では08年から市消防団活動協力員制度を導入、今4月からは機能別団員を導入し、防災力強化を図っている。町長 若い退団者を見ると残念だ。団長とも話しをしていく。



# 子ども議会を開催できないか

村形 昌一 議員

## することは可能 町長



私たちの意見も聞いて!(議場)

## 18歳選挙権

若年層が政治への関心を持つことがより良い町づくりにつながると考えるが。

町長 町では新たに140人が有権者になるが、政治への関心が薄れていることが心配だ。全国的に子ども議会が活況だ。当町でもできないか。町長 議長と相談する。若年層に投票済み証を発行してプレミアム券やあったまり入浴券を景品

## 消防団の体制強化を

380人とした数値目標をどう達成していくか。町長 現在359人で、町としても職員が地域の一員として積極的に消防団に加入するよう呼びかけている。消防委員会と消防団幹部とも十分協議しながら少しでも数値目標に近づけるように取り組んでいく。



どうする団員不足(出初式)

## 官民挙げの駅東開発

民間のマンションが完成した。町としての対応は。町長 国の補助制度を活用して支援をしていく。

## コミュニティスクール

3年を終えたが実績と課題は。教育長 地域を巻き込んだ教育活動意識が向上し、小中一貫教育の取り組みがなされた。半面、教員の多忙感の解消のための環境整備や地域と学校を結びコーディネートする確保が課題だ。